



平成24年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社

コード番号 2538 URL <http://www.j-fla.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 武司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務計画部長 (氏名) 杉 義継

TEL 06-6444-5293

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	8,372	0.5	465	25.9	423	23.4	173	54.0
23年9月期第1四半期	8,415	4.5	628	65.3	553	99.2	376	185.2

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 165百万円 (50.5%) 23年9月期第1四半期 333百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	2.67	
23年9月期第1四半期	5.81	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	30,886	8,644	28.0
23年9月期	29,594	8,480	28.7

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 8,644百万円 23年9月期 8,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期				0.00	0.00
24年9月期					
24年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年9月期の期末配当予想額については、未定であります。

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,200	3.1	570	7.6	350	20.9	100	57.1	1.54
通期	29,800	3.8	900	0.7	500	26.1	100	228.3	1.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年9月期1Q	68,004,520 株	23年9月期	68,004,520 株
24年9月期1Q	3,244,067 株	23年9月期	3,243,918 株
24年9月期1Q	64,760,583 株	23年9月期1Q	64,761,837 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・配当については、業績に応じた適正な利益還元を行うことを基本方針とし、企業体質の一層の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案して決定しております。現時点においては事業環境に不透明な要因が多いことから配当予想額を未定としておりますが、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から持ち直しの動きがみられる一方で、円高や欧州の財政問題、米国の景気低迷等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、円高メリットを活かした価格戦略、新商品の導入、新規顧客開拓及び既存取引先の深耕を図り、商品シェア拡大と収益力の向上に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,372百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益は465百万円(前年同期比25.9%減)、経常利益は423百万円(前年同期比23.4%減)、四半期純利益は173百万円(前年同期比54.0%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(食品類・酒類事業)

醤油につきましては、家庭用の市場が消費者の節約志向によりNB商品から低価格のPB商品へシフトされている中で、NB主力商品である「こいくちしょうゆ1Lペット」を中心に主力量販店への増販や新規顧客獲得を進めましたが売上は減少しました。業務用は、厳しい市場動向に加え、大手取引先の生産拠点の移転及び内製化への移行等の影響により売上が減少しました。

つゆ・たれ類につきましては、家庭用商品の「よせ鍋つゆ500ml」「うどんすき鍋つゆ500ml」「ちゃんこ鍋つゆ500ml」のリニューアル品や、既存商品の「醬の郷 すきやきのたれ500ml」「極淡白だし500ml」等の売上が好調に推移しました。業務用は、大手取引先の生産拠点の移転及び内製化への移行等の影響により売上が減少しました。

その他調味料につきましては、家庭用のNB主力商品である「料理酒1Lペット」の売上が増加し、「醸造みりんタイプ1Lペット」の売上も堅調に推移しました。また、有機関連商品である「有機純米料理酒500ml」「有機みりんタイプ500ml」の売上が増加しました。

漬物につきましては、市場は依然として高単価商品の需要が減少し低価格化が進んでおります。主力のなら漬は、市場環境の影響を受け高額商品の売上が低迷し、またこれまで好調に推移していたお手頃価格の「あっさりなら漬きゅうり」の売上も前年同期並みとなりました。醤油漬及びその他漬物は、病院給食用の商品の売上が堅調に推移しました。

飲料につきましては、NB商品は、季節商品の「くりほうじ茶」の新規導入や新規取引先の開拓等により売上が増加しました。PB商品は、一部の得意先で好調に推移したものの、アイテム見直しによる終売商品の発生等により売上が減少しました。

その他食品につきましては、「もろみ酢」を中心とする健康食品の売上が低調に推移しました。

酒類につきましては、清酒は、「尾張常滑郷の鬼ころし2Lパック」「尾張男山2Lパック」等の経済酒が、競合他社の低価格販売のあおりを受けたこと等により売上が減少しました。清酒以外では、「蔵出し 本みりん」が新規顧客開拓等により売上を大きく伸ばしました。

この結果、当事業の売上高は5,082百万円(前年同期比3.6%減)、セグメント利益(営業利益)は161百万円(前年同期比49.9%減)となりました。

(輸入食品類・酒類販売事業)

業務用食材につきましては、米国産キャビアが正月おせちやエアラインファーストクラスに採用、世界一と評価されているスペイン産イベリコ生ハム「ホセリートブランド」の新規導入、問屋取引の強化、ブライダル市場の開拓等の営業施策が順調に推移したことにより売上が増加しました。

製菓用食材につきましては、コンビニ用スイーツ市場へのクリームチーズ拡販を目的にした大手洋菓子製造会社の開拓が進みユーザー増加に成功しました。また、関西発ヒット焼き菓子商品に採用されている製菓材商品の売上が増加しました。

小売用商品につきましては、従来からの主力商品であるボンヌママンブランドのジャムは、大手卸店との取組強化により取引店舗数が増加し、また大手チェーン店への採用も決まりました。さらに、クリスマス用の新商品であるイタリア菓子「パネトーネ」の実績が加わったこと等により売上が増加しました。

ワイン類につきましては、主力商品である「ボランジェ」「シャンソン」「アヤラ」は、円高メリットを活かした販路拡大を行い売上の伸長に寄与しました。中低価格帯商品は、安定的に市場に受け入れられ順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は2,966百万円(前年同期比5.7%増)、セグメント利益(営業利益)は199百万円(前年同期比25.7%減)となりました。

(水産品加工販売事業)

㈱イメックスにつきましては、市場環境の厳しい中、主力商品の「ラングスティーヌ」の売上が対象顧客であるブライダル関連で好調に推移しました。また、冷凍フィレ、オリジナル加工品のタイヤズズキ等のマリネが、新規のホテル・レストランにメニュー採用されたこと等により売上が増加しました。

㈱ブルーゲイツにつきましては、外食・中食チェーンへのメニュー企画からソース・調味料までの一括提案、商社・大手ベンダーへの商品企画からブランディングまで行う企画提案型営業に軸足を移行中であり順調に推移しておりますが、震災の影響による原料不足から商品確保に苦慮したこと等により売上は減少しました。しかしながら、利益重視の販売及びコスト削減を実施したこと等により増益となりました。

この結果、当事業の売上高は310百万円(前年同期比3.7%減)、セグメント利益(営業利益)は10百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、受取手形及び売掛金が1,849百万円増加し、たな卸資産が290百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ1,587百万円増加し14,342百万円となりました。固定資産は、のれんが77百万円、繰延税金資産が125百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ290百万円減少し16,521百万円となりました。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ、1,292百万円増加し30,886百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、支払手形及び買掛金が638百万円増加し、未払費用が390百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ1,199百万円増加し18,777百万円となりました。固定負債は、長期借入金64百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ71百万円減少し3,464百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ、1,128百万円増加し22,242百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純利益173百万円により利益剰余金が増加し、繰延ヘッジ損益が13百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ163百万円の増加となり8,644百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような事業環境の中、既存の食品事業領域における着実な成長と、経営の効率化により財務体質の健全化を図ってまいります。

なお、平成23年11月11日付「平成23年9月期決算短信」にて発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,300	1,563
受取手形及び売掛金	5,416	7,266
商品及び製品	2,762	2,489
仕掛品	1,874	1,781
原材料及び貯蔵品	621	697
その他	825	619
貸倒引当金	46	74
流動資産合計	12,755	14,342
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,108	7,030
その他(純額)	3,690	3,650
有形固定資産合計	10,798	10,681
無形固定資産		
のれん	4,196	4,119
その他	263	214
無形固定資産合計	4,460	4,334
投資その他の資産		
その他	1,800	1,769
貸倒引当金	246	263
投資その他の資産合計	1,553	1,505
固定資産合計	16,812	16,521
繰延資産	26	22
資産合計	29,594	30,886

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,209	2,848
短期借入金	13,111	13,090
1年内返済予定の長期借入金	356	343
1年内償還予定の社債	44	44
未払法人税等	58	81
賞与引当金	127	91
その他	1,670	2,277
流動負債合計	17,578	18,777
固定負債		
社債	1,187	1,187
長期借入金	1,488	1,423
退職給付引当金	432	401
その他	427	451
固定負債合計	3,535	3,464
負債合計	21,113	22,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,773	2,773
資本剰余金	7,719	7,719
利益剰余金	1,525	1,352
自己株式	376	377
株主資本合計	8,591	8,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	6
繰延ヘッジ損益	107	121
為替換算調整勘定	8	8
その他の包括利益累計額合計	110	118
純資産合計	8,480	8,644
負債純資産合計	29,594	30,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	8,415	8,372
売上原価	5,428	5,395
売上総利益	2,986	2,976
販売費及び一般管理費	2,358	2,511
営業利益	628	465
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	0	0
貸倒引当金戻入額	-	35
為替差益	16	17
持分法による投資利益	17	17
その他	12	9
営業外収益合計	50	83
営業外費用		
支払利息	112	104
その他	13	21
営業外費用合計	125	125
経常利益	553	423
特別利益		
投資有価証券売却益	-	24
貸倒引当金戻入額	4	-
その他	0	-
特別利益合計	4	24
特別損失		
減損損失	-	55
特別退職金	12	-
事業再編損	35	-
その他	6	0
特別損失合計	54	56
税金等調整前四半期純利益	503	392
法人税、住民税及び事業税	16	22
法人税等調整額	110	196
法人税等合計	126	218
少数株主損益調整前四半期純利益	376	173
少数株主利益	-	-
四半期純利益	376	173

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	376	173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	5
繰延ヘッジ損益	42	13
為替換算調整勘定	1	0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	43	7
四半期包括利益	333	165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333	165
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。